



フジルーティングEXを

正しくお使いいただくために

※【CDシステムを正しくお使いいただくために】と併せてご覧ください。

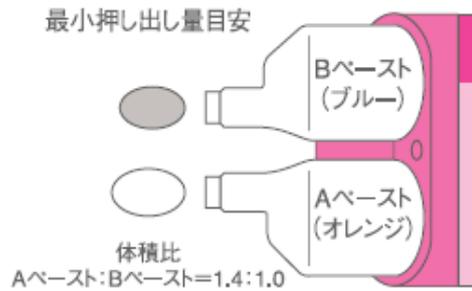
1. 最小採取量は【製品パンフレット】又は【製品個装函】に記載の最小採取量を目安に、確認しながら採取してください。

また、はじめて或いは期間をおいて使用するカートリッジはノズル先端に空気が内在している場合がありますので、最初の1回目の押し出し操作で左右のペーストの先端を合わせてから、ご使用ください。



※体積比 Aペースト:Bペースト=1.4:1.0

製品パンフレット



体積比 Aペースト:Bペースト=1.4:1.0

個装函

2. 練和の状態が分かるようにAペーストとBペーストの色を変えております。練和は、練和紙を広く使い、円を描くようにして【10秒間】しっかりと練り込んでください。



計量がラク

ペースト採取

Aペースト:オレンジ色 Bペースト:ブルー色



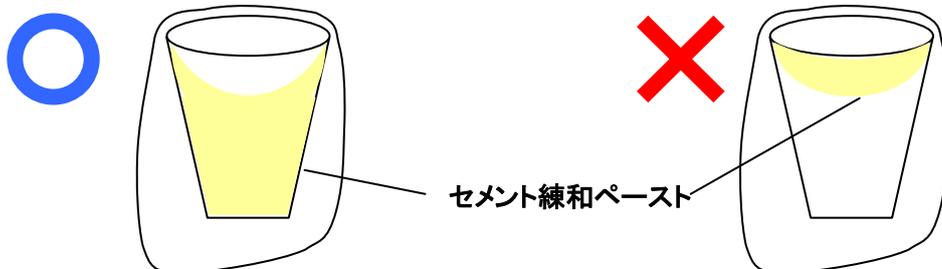
練和がラク

練和

10秒間しっかり練和

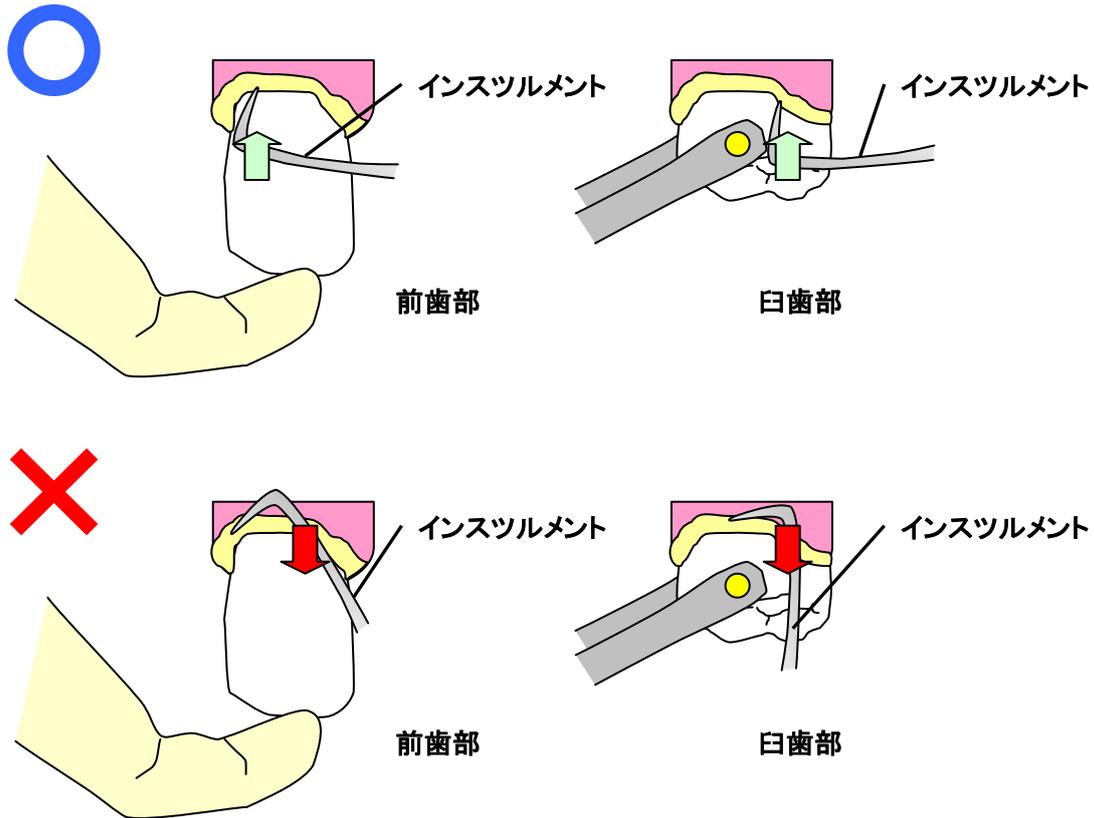
安定した硬化特性及び硬化物強度を得るために、練和ペーストの色調が均一なライトイエローになるように、しっかりと練和してください。

3. セメントは充分な量を補綴物に塗布してください。



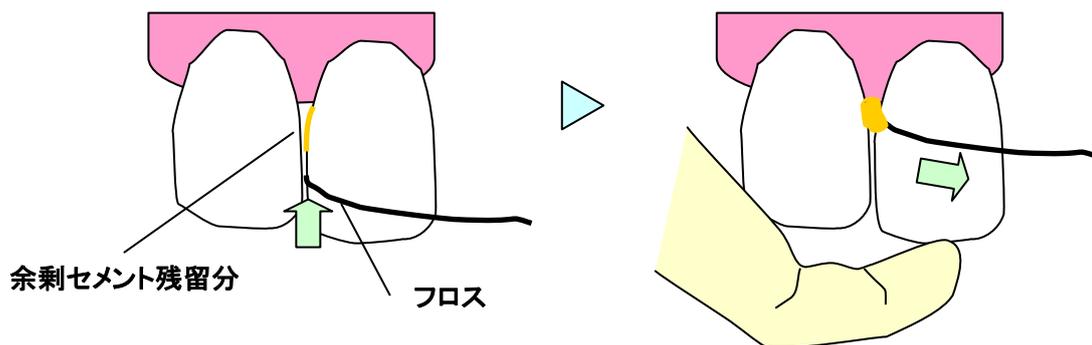
セメント練和ペーストの塗布量が不足している場合、支台歯と補綴物間のセメント層をセメント練和ペーストで満たせず、補綴物の早期脱落に繋がる恐れがありますので、適切な量を塗布してください。

4. 余剰セメントの除去は補綴物装着方向に力が加わるようにして行ってください。



余剰セメントの除去は、補綴物を押さえながら、補綴物装着方向に向けて力を加えて行ってください。補綴物撤去方向に力を加えると、補綴物の浮き上がりや早期脱落の原因になる場合がありますのでご注意ください。

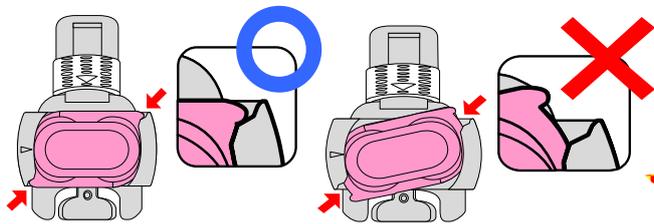
<フロス使用時>



フロスは切端から歯頸部へ通しながら残留セメントを除去し、補綴物を押さえながら歯頸部付近で頬側へ引き抜いてください。

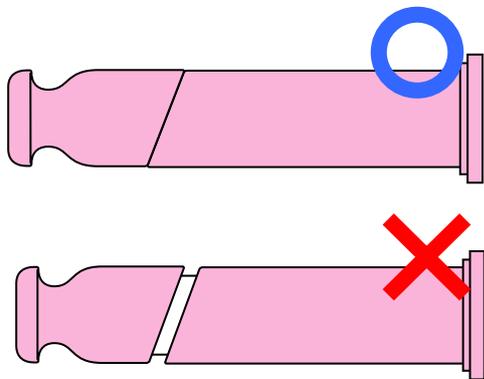
CDシステムを正しくお使いいただくために

1. カートリッジの装着状態は適切ですか？



CDディスペンサー又はCDディスペンサーⅡへのCDカートリッジの装着が不十分な状態でご使用になると、『左右のペーストが適切な比率で押し出しできない』、『CDカートリッジの破損』等の現象につながる恐れがあります。CDカートリッジを適切に装着してから、押し出し操作を行ってください。

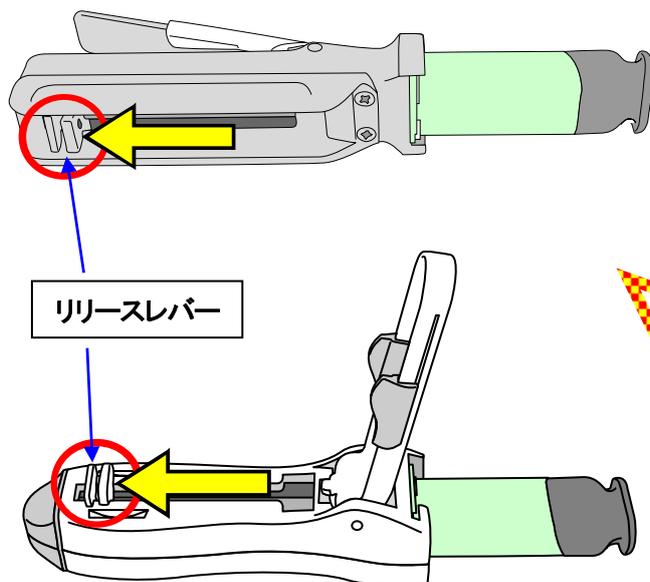
2. キャップは確実にしめていますか？



キャップの装着が不十分ですと、ペースト成分が揮発してしまい、『左右のペーストが適切な比率で押し出しできない』、『製品本来の性能が発揮できない』等の現象につながる恐れがありますので、ペースト採取後は確実にキャップをしめてから、保管してください。

またシリンジ先端部にペーストが付着したままキャップをすると、キャップがきちんと閉められなくなりますので、シリンジ先端部にペーストが付着した場合は拭き取ってからキャップを閉めてください。

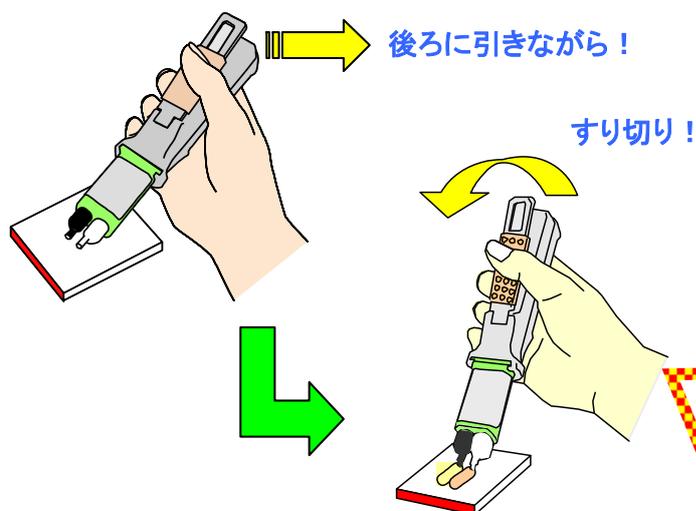
3. プッシュポール(押し棒)をCDディスペンサー本体に完全に引き戻してから、CDカートリッジを取り外していますか？



プッシュポール(押し棒)の引き戻しが不完全な状態でCDカートリッジの取り外し操作を行いますと、『CDカートリッジの破損によりペーストの押し出しができない』、『CDディスペンサー又はCDディスペンサーⅡの破損』等につながる恐れがありますのでご注意ください。

プッシュポール(押し棒)がCDディスペンサー又はCDディスペンサーⅡ本体内に、確実に引き戻されていることを確認(リリースレバーが一番後ろまで引き戻されていることを確認)してから、CDカートリッジの取り外し操作を行ってください。

4. ペースト採取後、すり切り操作を行っていますか？



ペースト採取後、シリンジ先端にペーストが付着したままキャップをしめると、シリンジ先端部とキャップの嵌合部にペーストが付着し、キャップが確実にしめられなくなる恐れがあり、その結果『左右のペーストが適切な比率で押し出しできない』、『製品本来の性能が発揮できない』等の現象につながる恐れがあります

CDディスペンサーを後ろに引きながら押し出し操作を行い、ペースト採取後にすり切り操作を行っていただければ、シリンジ先端部にペーストが付着しにくくなります。